

大川地区防災計画

がんばろう
大川

令和3年3月作成

大川地区自主防災組織

< 目 次 >

| | | | |
|---|-----------------|-------|----|
| 1 | 目 的 | | 1 |
| 2 | 計画の役割 | | 1 |
| 3 | 基本方針 | | 1 |
| 4 | 地域の特徴 | | 1 |
| | (1) 大川地区の特徴 | | 1 |
| | (2) 過去の災害 | | 2 |
| | (3) 今後想定される災害 | | 3 |
| 5 | 防災活動 | | 4 |
| | (1) 組織の編成及び役割分担 | | 4 |
| | (2) 災害時の活動 | | 5 |
| | 災害時の活動 タイムライン | | 8 |
| | (3) 平常時の活動 | | 9 |
| | 資 料 編 | | 13 |
| | 1 防災訓練計画 | | 14 |
| | 2 備蓄物資保管数 | | 15 |

1 目的

この計画は、大川地区における「防災」・「減災」のための必要事項を定め、地区住民の生命を災害から守ることを目的とする。

2 計画の役割

この計画は、災害種類の内、雨量の状況等で災害発生が予測可能な「水害」「土砂災害」についての平常時及び災害時の活動について定めるものです。

3 基本方針

- 自分の命は自分で守る「自助」を実践する。
- 自助を実践したうえで、地域で助け合う「共助」に努める。
- 地域住民全員が、各々の役割を自覚・分担し、「公助」たる行政とともに地域災害に取り組む。

4 地域の特性

(1) 大川地区の特性

- ① 各地域をつなぐ市道と県道は、所どころ道幅が狭く、崩落箇所も見受けられることから、大規模災害が発生した際には道路が土砂等で遮断され、孤立する集落が発生する可能性がある。
- ② 成能地域と森山地域の間を流れる肱川は、平成30年7月豪雨により大氾濫を引き起こし、大川地区住民の生活に欠かせない大成橋が流出するなど大川地区に甚大な被害をもたらした。
2019年、大川地区の上流に位置する鹿野川ダムには、従来の放流ゲートより低い位置にトンネル洪水吐が設置され事前放流が行われるようになり、また近い将来、森山地域の堤防が整備されることから、以前より肱川が氾濫する確率は減少されると見込まれるが、予断は許されない。

(2) 過去の災害

①大洲市の過去の災害

昭和18年、20年、平成7年、16年、30年に、大きな水害が発生している。

このうち、平成30年7月に発生した水害は、台風7号及び梅雨前線による記録的な豪雨による影響で、西日本の広範囲でも大規模な河川の氾濫や土砂災害が発生し、気象庁はこの大雨を「平成30年7月豪雨」と名称を定めた。

②平成30年7月豪雨

【降雨状況】

7月5日10時から7日にかけての2日間(48時間)の総雨量は、野村ダム上流域で421mm、鹿野川ダム上流域で380mm、大洲上流域で333mmを記録した。

※流域で2日間の総雨量340mmは概ね100年に1回程度の大雨に相当する。

【鹿野川ダムの状況】

鹿野川ダムの最大流入量は3,800 m^3/s (7月7日8時43分)を記録し、放流量も最大3,742 m^3/s (7月7日8時43分)を記録した。

【大川地区の状況】

60戸を超える住家が床上浸水となり、1名の尊い命が失われた。

固定電話も不通(7月31日復旧)となり、旧大成小学校のグラウンドは災害廃棄物の仮置場となった。

《避難所開設状況》

●大川公民館

開設期間

7月6日(8時30分)から9月14日(9時00分)まで

最大避難者数

17名

●定林寺

開設期間

7月7日(12時00分)から9月30日(17時00分)まで

最大避難者数

40名

●東集会所

開設期間

7月7日(18時00分)から9月30日(17時00分)まで

最大避難者数

7名

(3) 今後想定される災害

①豪雨災害

【浸水被害】

平成30年7月豪雨による災害により、被害があった森山地域については、堤防は整備される計画となったが、八河川と椽元川の内水対策については検討中であり、今後も浸水被害は懸念される。

【土砂災害】

大川地区の多くは土砂災害警戒区域・特別警戒区域に指定されており、降雨や台風による強風、さらに土砂災害が発生することも懸念される。

②地震

今後30年以内に70%～80%の確率で発生すると想定されている「南海トラフ巨大地震」の想定震度は、大洲市内で震度7とされており、大川地区は震度6弱から6強と想定されている。

【震度6弱から6強での状況】

- ・ 立っていることが困難になり、家具が転倒したり、家屋の変形でドアが開かなくなることも多い。
- ・ 耐震性が低い木造住宅は倒壊するものがあり、耐震性の高い住宅でも壁や柱が破損するものがある。
- ・ 土砂崩れ、火災が発生する可能性がある。



(平成30年豪雨災害発生時の森山地域)

5 防災活動

防災活動は、「自分たちの地域は自分たちで守る」という精神のもとに取り組むこととし、災害が起きる前（平常時）と起きた後（災害時）によって活動内容が異なることから、活動項目を「平常時」と「災害時」の2つに分けて作成する。

(1) 組織の編成及び役割分担

災害時、災害の種類・状況に応じて、「誰が、何を、どれだけ、どのようにすべきか」を整理するため、次の防災組織を編成する。

大川地区自主防災組織編成表



(2) 災害時の活動

警戒レベル1

早期注意情報（台風予報等で「警報級の可能性」など）

【住民】

災害への心構えを高める。（避難時に不足するものがないか確認する）

警戒レベル2

大雨・洪水注意報

【住民】

災害・避難カードから避難行動を確認する。

【自主防災本部・支部役員、各地区班員】

各長は、役員（班員）等の所在を確認する。

警戒レベル3

大雨・洪水警報

①大洲第2水位観測所

水位3.3m

消防団待機

②大川水位観測所

水位3.5m

大洲市災害対策本部設置

③大川水位観測所

水位4.5m

はん濫発生注意水位（小山建設前の農地冠水）

④・大川水位観測所

水位4.9m

・土砂災害が発生する可能性が高まった時

避難所開設（大川公民館）

避難準備・高齢者等避難開始情報発令

【住民】

高齢者等 ⇒ 避難を開始する。

上記他 ⇒ 避難の準備をする又は自主避難を開始する。
高齢者等の避難の支援を行う。

【自主防災会長・副会長・支部役員】

公民館に集合して避難所を運営する。

【地区長】

ア) 情報班と共に高齢者等へ避難を呼びかける。

イ) 集会所等での避難所を運営する。

【情報班】

ア) 避難を呼びかける。

【災害応急対策班】

ア) 集会所等での避難所を運営する。

警戒レベル4

- ①・大川水位観測所 水位5.65m
・土砂災害が発生する可能性が極めて高い時
避難勧告発令（災害が発生するおそれが極めて高い状況）

【住民】

浸水地域の方々は避難する。
又は住家が土砂災害特別警戒区域内の方々は避難する。

【自主防災会長・副会長・支部役員】

公民館又は蔵川分館へ集合
ア) 公民館での避難所を運営する。

【地区長】

ア) 情報班と共に避難を呼びかける。
イ) 集会所等での避難所を運営する。

【情報班】

ア) 避難を呼びかける。

【災害応急対策班】

ア) 集会所等での避難所を運営する。

- ②・大川水位観測所 水位6.1m
・土砂災害が発生する可能性が極めて高い時
避難指示（緊急）発令（災害が発生している可能性あり）

【住民】

安全な場所へ避難又は命を守る行動をする。

警戒レベル5

大雨特別警報

はん濫発生（既に災害が発生している状況）

【住民】

命を守るための最善の行動をする。

【自主防災会長・副会長・支部役員】

ア) 安否の確認、被害状況の確認をする。
イ) 公民館での避難所を運営する。

【地区長、情報班】

ア) 安否の確認、被害状況の確認をする。

【災害応急対策班】

ア) 集会所等での避難所を運営する。

【給食・給水班】

ア) 炊き出し、給水等の準備

被災後の活動

- ① 災害の状況により避難所生活が長期化していくことを考慮し、避難所運営は出来る限り避難住民が行えるように、リーダーを定め、役割分担を行うようにする。
- ② 住家が被災していない方のうち、支障がない方々は災害復興に関する支援等を行う。
- ③ 住家が被災していない、自主防災組織の役員は、避難所の運営支援を行う。

【住民】

- 避難所生活者
避難所運営（出来る限り行う）
- 住家が被災していない方（支障がない方）
 - ・被災者宅の片づけ
 - ・重機等保有者は、生活道が土砂等で遮断された場合の対応
 - ・自主防災組織会長が災害復興に関して依頼するもの

【自主防災会長・副会長・支部役員】

- ア) 公民館での避難所運営全般の支援を行う。
- イ) 避難所生活者からのニーズを聞き取る。
- ウ) 被災者のニーズに対応できるよう調整、対応、支援依頼を行う。
- エ) ボランティアの受入、調整を行う。
- オ) 来訪者、取材対応を行う。
- カ) 被災者のライフラインの回復状況等から、市と協議の上、避難所を閉鎖する。
- キ) その他、上記以外が生じたことを対応する。

【地区長】

- ア) 避難所生活を除く被災者からのニーズを聞き取り、本部へ報告する。
- イ) 避難所生活を除く被災者の支援などを行う。

【情報班】

- ア) 市のHP等から情報を収集し、本部及び被災者へ提供する。
- イ) 被災者への周知事項を、避難所内掲示、個別訪問等で周知を行う。

【災害応急対策班】

- ア) 公民館での避難所の運営支援を行う。
- イ) 避難所生活を行う要配慮者への支援を行う。
- ウ) 避難所生活者の衛生・健康管理を行う。
- エ) 避難所のトイレ・ゴミに対応する。

【給食・給水班】

- ア) 食料等の配給・管理・受入・要請、炊き出しなど被災者の飲食全般を対応する。

災害時の活動 タイムライン

| 警戒レベル | 住民 | 会長/副会長 | 支部役員 | 地区長 | 情報班 | 災害応急対策班 | 給食・給水班 |
|--|--|-------------------------------------|-------------------------------------|-------------------------------------|-------------------|---------------------|----------------|
| レベル1 早期注意情報 | 災害への心構えを高める | | | | | | |
| レベル2 大雨・洪水注意報 | 災害・避難フェードから避難行動を確認する。 | 所在を本部に連絡する。 | 所在を本部に連絡する。 | 所在を地区長に連絡する。 | 所在を地区長に連絡する。 | 所在を地区長に連絡する。 | 所在を地区長に連絡する。 |
| レベル3 大雨・洪水警報 ・大川水位観測所 水位 4.5m ※小山建設前農地冠水 | | | | | | | |
| ・大川水位観測所 水位 4.9m ・土砂災害可能性高い時 避難準備・高齢者等 避難開始情報発令 | 高齢者等 ・避難開始 その他 ・自主避難開始 ・高齢者等支援 | ・避難所運営 (公民館) | ・避難所運営 (公民館) | ・高齢者等 避難呼びかけ ・避難所運営 (各集会所) | ・高齢者等 避難呼びかけ | ・避難所運営 (各集会所) | |
| レベル4 ・大川水位観測所 水位 5.65m ・土砂災害可能性高い時 避難勧告発令 | ・避難開始 | ・避難所運営 (公民館) | ・避難所運営 (公民館) | ・避難呼びかけ ・避難所運営 (各集会所) | ・避難呼びかけ | ・避難所運営 (各集会所) | |
| ・大川水位観測所 水位 6.1m ・土砂災害可能性高い時 避難指示(緊急)発令 | ・安全な場所へ避難 ・命を守る行動 | ・避難所運営 (公民館) | ・避難所運営 (公民館) | ・避難呼びかけ ・避難所運営 (各集会所) | ・避難呼びかけ | ・避難所運営 (各集会所) | |
| レベル5 ・大雨特別警報 災害発生 | ・命を守る行動 | ・避難所運営 (公民館) ・安否確認 ・被害状況確認 | ・避難所運営 (公民館) ・安否確認 ・被害状況確認 | ・安否確認 ・被害状況確認 | ・安否確認 ・被害状況確認 | ・避難所運営 (各集会所) | ・炊き出し、給水 準備 |
| 被災後の活動 避難所運営支援 | ・避難住民が 避難所運営 ・災害復興支援 | ・避難所運営全般 支援 | ・避難所運営全般 支援 | ・被災者ニーズ開取 ・被災者支援 | ・情報収集 ・情報提供、周知 | ・避難所運営支援 ・避難所衛生等 | ・被災者の飲食全般 |

(3) 平常時の活動

災害・避難カード（名刺サイズ、A3サイズ）の内容を確認

災害時にカードが活用できるように、平常時から内容を確認しておき、変更する箇所があれば、随時修正しておく。

①名刺サイズ

【家族間の安否確認手段】

ア) 家族の携帯番号などを記入しておく。

イ) 電話が不通になった場合に、「災害伝言ダイヤル（171）」を活用する。

※ダイヤルは、カードに表示している。

【避難所での活用】

ア) 氏名等を記入しておく。 ⇒ 受付がスムーズに行える。

イ) 持病等を記入しておく。 ⇒ 避難所運営スタッフが支援しやすい。

②A3サイズ

【避難場所の確認】

ア) カードに表示されているハザードマップに記入しておく。

【危険箇所、避難経路の確認】

ア) カードに表示されているハザードマップに、空き家や普段崩れている箇所などを記入しておくことで、災害時に通行不能などの予測が可能になる。

【非常用持出品】

ア) 避難所で手に入らない、メガネや補聴器などを記入しておく。

【避難行動要支援者対策】

イ) 民生委員と協議の上、各地区の要支援者名簿を整備し、避難時に自分が誰を支援するか予め地区内で協議して決めて記入しておく。

防災知識の普及・啓発

大川地区住民の防災意識を高めるため、自主防災組織及び婦人防火クラブ等が、あらゆる機会に次のような防災知識の普及・啓発を行うように努める。

①普及・啓発事項

○災害についての知識に関すること。

○食料等を7日分（最低3日分）を確保することの重要性に関すること。

○災害・避難カードの活用に関すること。

○その他防災に関すること。

②普及・啓発の方法

○リーフレット、防災用品等の配布

○座談会、講演会、防災ゲーム大会等の開催

○地区運動会に防災種目を導入

○その他

防災訓練等

自主防災組織が開催する訓練等は、原則として毎年3月に、次のようなものを実施する。（具体的な計画は資料編に掲載）

○災害体験型訓練

実際に災害に直面したときに、個人、組織が適切な行動がとれるように、災害を想定した訓練を実施する。

避難所運営を想定した訓練、自主防災組織役員及び各班の訓練

○危険箇所確認（街歩き）

平常時は、車で通行する場所において、避難所までの危険な場所を確認する。高齢化が進んでいるため、各行政区ではなく、自主防災組織で確認していく。

○備蓄物資の確認

何が、どこに、どのくらい確保されているかの確認を行う。

その際、数は足りているかなど再検討を実施する。

○トリアージ訓練

災害時に多数の傷病者が発生した場合、傷病の緊急度や重症度に応じて治療優先度を定める訓練を行う。

○防災資器材の使用方法的確認及び点検

○その他

防災資機材等の整備

大規模災害時には、行政機関による救助・対応等が遅くなることが想定されることから、様々な災害を想定し、必要な資機材を備えておくことが必要である。

今後、何がいくつ、どこに保管しておくか検討し、計画的に整備を進める。（現在の保有物は資料編に掲載）

人材育成

防災に関する知恵の伝承や、地域のリーダーを育成していくことは地域の防災力を高め、持続していくために大変重要である。

そこで、消防団や各種団体等と連携した防災学習、防災訓練の実施や、防災士の資格取得講座の受講推進など、積極的な地域の人材育成に努める。

避難行動要支援者等対策（地区を越えた支援）

災害・避難カード整備時に、地区内において「災害時に誰が誰を支援する」ことを予め決めておくこととするが、次のことも考慮して地区を越えた支援も協議しておく。

5年毎に1回は、これらについての見直しを行う。

- ①支援者が災害時に不在の可能性がある。
- ②地区によっては、要支援者と支援者との居住地が離れている。
- ③地区内においては、要支援者の居住地近辺に支援者がいない。

食料備蓄の確保計画

大規模災害時には、個人による備蓄を持ち出すことが困難な場合を想定して、（基本的には備蓄は個人が確保する）地域の備蓄（アルファ米、非常用保存水）を計画的に整備していく。

市から食料備蓄整備として、5年毎に150人分（保存水 1人当たり2ℓ、米・パン等4種類 1人当たり2食）が配布され大川公民館に保管しているが、山間部の地域が災害時に集落が孤立することを想定して、大川地区でも備蓄物資を計画的に確保する。

（現在の保有物は資料編に掲載）

○大川地区食料備蓄確保計画

大川地区人口 706名（令和2年11月末現在）

避難想定人数 150名（大川地区人口 約2割）

※平成30年7月豪雨災害時の最大避難者数

64名（避難先／大川公民館、定林寺、東集会所）

八河、森本、東地区（平成30年6月末／254名）の約2割

令和7年度からは150人分確保できるように、保存期間5年の食糧備蓄を毎年30人分ずつ（1人3日分）を購入する。

(1) 1日1人当り食料備蓄

- ・保存水500ml 4本
- ・アルファ米 3食分（ワカメ、五目 等）

(2) 単年度食料備蓄確保数及び保管先

| 孤立した場合を想定した食料備蓄保管先 | 単年度確保数 | 備考 |
|---|--------|---------------|
| ○ 成木集会所 志茂、成木、坊屋敷、杖ノ瀬 | 9 人分 | |
| ○ 大川公民館 八河、森本、東 | 3 人分 | 市からの備蓄配分があるため |
| ○ 富谷集会所 富谷 | 2 人分 | |
| ○ 大貸集会所 大貸、青石 | 3 人分 | |
| ○ 蔵川分館（基幹集落センター） 根元、満屋敷、日の平、川口、太田、本谷、丸山 | 9 人分 | |
| ○ 小蔵集会所 宮野、小蔵 | 2 人分 | |
| ○ 舟原集会所 舟原 | 2 人分 | |
| 合計 | 30 人分 | |

(3) 備蓄物資確保計画

| 年 | R 3 | R 4 | R 5 | R 6 | R 7 | R 8 | R 9 | R 10 | R 11 |
|------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|------------|------------|
| 保存期間 | R 3 購入 | R 8 購入 | R 8 購入 | R 8 購入 | R 8 購入 |
| | | R 4 購入 | R 9 購入 | R 9 購入 | R 9 購入 |
| | | | R 5 購入 | R 10 購入 | R 10 購入 |
| | | | | R 6 購入 | R 11 購入 |
| | | | | | R 7 購入 | R 7 購入 | R 7 購入 | R 7 購入 | R 7 購入 |
| 確保数 | 30 | 60 | 90 | 120 | 150 | 150 | 150 | 150 | 150 |
| 廃棄 | | | | | | R 3 購入 | R 4 購入 | R 5 購入 | R 6 購入 |

※保存期間経過後（令和3年に購入したものは令和8年に）に廃棄する。

※廃棄方法（試食または廃棄）は、保管施設管理者（区長等）が判断する。

大川地区防災計画

資 料 編

1 防災訓練計画

令和3年度（2021年度）

○災害・避難カードの説明会

各行政区ごとで開催し、活用方法は連絡所長が説明する。

活用方法説明後に各行政区ごとで次の作業を行う。

- ・災害時の一時避難場所を協議決定する。
- ・災害時に避難行動要支援者の支援をどうするか協議決定する。

令和4年度（2022年度）

○避難訓練、危険箇所確認（街歩き）、情報伝達訓練

土砂災害を想定した避難訓練を実施する。

普段から小さな崩落がある道は、避難時に道が遮断されている可能性があるため、そこは通行せずに、一時避難場所までの避難ルートを車でではなく歩いて実際に安全に避難できるか確認する。

車で避難を考える場合は、駐車スペースは十分にあるかなど確認する。

併せて、防災無線クラブによる情報伝達訓練を実施する。

令和5年度（2023年度）

○避難所運営体験訓練

避難所運営ゲームを行う。

避難所では、様々なことがおこるため、それをどのように対処するか考えながら避難所運営を体験する。

令和6年度（2024年度）

○トリアージ訓練

災害時に多数の傷病者が発生した場合、傷病の緊急度や重症度に応じて治療優先度を決める訓練を行う。

令和7年度（2025年度）

○研修

大川地区に災害に関する専門知識がある方に来ていただいて、講演してもらう。

または、地区外へ出向いて、先進地視察等を行う。

令和8年度（2026年度）

○給食・給水訓練

令和3年度に購入した備蓄物資を試食する等。

※上記の内容は主なものであり、毎年併せてつぎのことは実施する。

○備蓄物資の確認

○防災資器材の使用方法的確認及び点検

2 備蓄物資保管数（令和2年度末）

（1）食料備蓄

| No. | 品目 | 数量 | 消費期限 | 保管場所 |
|-----|------------------|-------|---------|-------|
| 1 | アルファ米（チキンライス） | 24袋 | 2022.9 | 大川公民館 |
| 2 | アルファ米（梅じゃこ） | 16袋 | 2023.2 | 大川公民館 |
| 3 | アルファ米（白飯） | 2袋 | 2022.7 | 大川公民館 |
| 4 | アルファ米（白飯） | 49袋 | 2022.3 | 大川公民館 |
| 5 | ドライカレー炊き出し5kg | 1セット | 2021.7 | 大川公民館 |
| 6 | チキンカレー炊き出し5kg | 1セット | 2021.7 | 大川公民館 |
| 7 | 生命のパン | 18缶 | 2022.4 | 大川公民館 |
| 8 | 生命のパン | 24缶 | 2022.9 | 大川公民館 |
| 9 | 生命のパン | 24缶 | 2021.2 | 大川公民館 |
| 10 | 生命のパン | 24缶 | 2024.8 | 大川公民館 |
| 11 | 生命のパン | 48缶 | 2024.9 | 大川公民館 |
| 12 | 保存水 20×6本 | 12ケース | 2026.9 | 大川公民館 |
| 13 | 保存水 20×6本 | 1ケース | 2022.11 | 大川公民館 |
| 14 | 保存水 500ml×24本 | 12ケース | 2026.9 | 大川公民館 |
| 15 | ミルクビスケット 24缶入 | 9箱 | 2024.2 | 大成体育館 |
| 16 | ミルクビスケット | 1缶 | 2023.11 | 大成体育館 |
| 17 | ミルクビスケット | 2缶 | 2024.1 | 大成体育館 |
| 18 | 保存水 500ml×12本 | 1箱 | 2026.8 | 大成体育館 |
| 19 | 保存水 500ml×24本 | 12箱 | 2026.8 | 大成体育館 |
| 20 | 保存水 20×6本 | 12箱 | 2026.7 | 大成体育館 |
| 21 | 保存水 20×3本 | 1箱 | 2026.7 | 大成体育館 |
| 22 | 備蓄パン ココア 15缶 | 1箱 | 2024.8 | 大成体育館 |
| 23 | 備蓄パン 黒まめ 15缶 | 1箱 | 2024.6 | 大成体育館 |
| 24 | 備蓄パン オレンジ 16缶 | 1箱 | 2024.7 | 大成体育館 |
| 25 | 備蓄パン ホワイトチョコ 15缶 | 1箱 | 2024.6 | 大成体育館 |
| 26 | 備蓄パン フォチュール 15缶 | 1箱 | 2024.8 | 大成体育館 |
| 27 | カンパン 24缶 | 3箱 | 2023.11 | 大成体育館 |
| 28 | カンパン 3缶 | 1箱 | 2023.11 | 大成体育館 |
| 29 | アルファ米 50食 | 1箱 | 2024.11 | 大成体育館 |
| 30 | アルファ米 25食 | 1箱 | 2024.7 | 大成体育館 |
| 31 | 保存水 20×6本 | 6ケース | 2022.9 | 蔵川分館 |

(2) 資機材

| No. | 品目 | 数量 | 備考 | 保管場所 |
|-----|-----------------|-------|------|---------|
| 1 | カセツトコンロ | 1台 | | 大川公民館 |
| 2 | カセットコンロ用ガスボンベ | 6本 | | 大川公民館 |
| 3 | 水コンテナ | 16つ | | 大川公民館 |
| 4 | 発電機 | 4台 | | 大川公民館 |
| 5 | 毛布 | 29枚 | | 大川公民館 |
| 6 | 簡易便器 | 6台 | | 大川公民館 |
| 7 | パーソナルテント(トイレ用) | 6張 | | 大川公民館 |
| 8 | 投光器 | 4台 | | 大川公民館 |
| 9 | 寝袋真空パック | 30名分 | R1購入 | 大川公民館 |
| 10 | 折りたたみ便器 | 6台 | R2配備 | 大川公民館 |
| 11 | 簡易トイレ(凝固剤、排便袋等) | 600回分 | R2配備 | 大川公民館 |
| 12 | パーソナルテント(トイレ用) | 2張 | R2配備 | 大川公民館 |
| 13 | 避難用テント(2人用) | 20張 | R2配備 | 大川公民館 |
| 14 | 備蓄マット(1人用) | 20枚 | R2配備 | 大川公民館 |
| 15 | 折りたたみ簡易ベット | 20台 | R2配備 | 大川公民館 |
| 19 | 避難用テント(2人用) | 10張 | R2配備 | 大成体育館 |
| 20 | 備蓄マット(1人用) | 10枚 | R2配備 | 大成体育館 |
| 21 | 折りたたみ簡易ベット | 10台 | R2配備 | 大成体育館 |
| 22 | 折りたたみ便器 | 3台 | R2配備 | 蔵川分館 |
| 23 | 簡易トイレ(凝固剤、排便袋等) | 300回分 | R2配備 | 蔵川分館 |
| 24 | パーソナルテント(トイレ用) | 1張 | R2配備 | 蔵川分館 |
| 25 | 投光器 | 7台 | | 蔵川体防災倉庫 |
| 26 | はしご | 1台 | | 蔵川体防災倉庫 |
| 27 | 鍋(満水容量27ℓ) | 1つ | | 蔵川体防災倉庫 |
| 28 | やかん | 6つ | | 蔵川体防災倉庫 |
| 29 | 発電機 | 1台 | | 蔵川体防災倉庫 |
| 30 | コンロ | 1台 | | 蔵川体防災倉庫 |
| 31 | 簡易便器 | 3台 | | 蔵川体防災倉庫 |
| 32 | パーソナルテント(トイレ用) | 1張 | | 蔵川体防災倉庫 |
| 33 | デッキブラシ | 1本 | | 蔵川体防災倉庫 |
| 34 | クーラボックス(大) | 1つ | | 蔵川体防災倉庫 |
| 35 | ジャッキ | 1つ | | 蔵川体防災倉庫 |
| 36 | 延長コード | 2本 | | 蔵川体防災倉庫 |
| 37 | ドラムコード | 1つ | | 蔵川体防災倉庫 |
| 38 | ラジオ付きライト | 1つ | | 蔵川体防災倉庫 |
| 39 | ノコギリ | 1つ | | 蔵川体防災倉庫 |
| 40 | 六角バール | 1本 | | 蔵川体防災倉庫 |

| No. | 品目 | 数量 | 備考 | 保管場所 |
|-----|-----------------|-------|------|---------|
| 41 | ブルーシート（大） | 3枚 | | 蔵川体防災倉庫 |
| 42 | バケツ | 12つ | | 蔵川体防災倉庫 |
| 43 | 間仕切り（プラスチックタイプ） | 6セット | | 蔵川体育館 |
| 44 | ダンボールベット | 4名分 | | 蔵川体育館 |
| 45 | 折りたたみ便器 | 3台 | R2配備 | 蔵川体育館 |
| 46 | 簡易トイレ（凝固剤、排便袋等） | 300回分 | R2配備 | 蔵川体育館 |
| 47 | パーソナルテント（トイレ用） | 1張 | R2配備 | 蔵川体育館 |
| 48 | 避難用テント（2人用） | 10張 | R2配備 | 蔵川体育館 |
| 49 | 備蓄マット（1人用） | 10枚 | R2配備 | 蔵川体育館 |
| 50 | 折りたたみ簡易ベット | 10台 | R2配備 | 蔵川体育館 |